

- 近年の激甚な水害や、気候変動による水害リスクの増大に備え、石狩川下流流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的として千歳川外地域部会を開催した。
- 『流域治水プロジェクト』の今年度内の策定を目指し、各自治体の取り組みと今後の進め方を確認した。
- 千歳川遊水地群の供用開始に対する思い、今後の治水対策への展望に対して、首長からご意見をいただいた。

日時：令和3年1月12日（火）14：00～15：00

開催方法：WEB会議

構成員：江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、
長沼町 北海道（空知総合振興局、石狩振興局）、
北海道開発局（札幌開発建設部）

オブザーバー（農業、林野、砂防に関わる機関、部署）：
北海道開発局（札幌開発建設部）、
北海道森林管理局（石狩森林管理署、空知森林管理署）、
北海道（空知総合振興局、石狩振興局）

地域部会の様子（WEB開催）



自治体（千歳市役所）



札幌開発建設部



千歳川河川事務所



自治体（南幌町役場）



自治体（恵庭市役所）

※写真を掲載しているのは参加者（会場）のうちの一部です

報告のあった自治体の取り組み事例

- ・ 河道掘削、樹木伐開など河道の維持管理の実施
- ・ 流出を抑制する「雨水調整池」、「浸透ます」等の設置
- ・ 宅地造成等に伴う流出抑制施設設置
- ・ 宅地等開発行為に関する指導要綱の作成
- ・ 市街地の小規模な宅地開発に対する雨水流出抑制に関する指導要綱作成
- ・ 水源涵養保安林として植林等整備
- ・ 農業地域の内水氾濫を抑制する農業用施設
- ・ 防災ガイドブック、洪水ハザードマップの作成・配布
- ・ 自主防災組織の育成
- ・ 防災・行政無線の整備

など



江別市長

- 江別市は石狩川、夕張川、千歳川の合流点に位置しており、過去に何度も水害を受けた経験がある。今回の千歳川遊水地群の完成は、市民に対する安全・安心の悲願であり、極めて感激し、また嬉しく思っている。
- 江別市は都市型農業で、多品種の農産物を生産しており、その観点から水害対策は極めて重要。千歳川遊水地群の完成による内水調整機能の効果が発揮されると、農作物の高品質化、生産拡大につながると思っている。
- 全国で豪雨災害が起きている。このたび千歳川遊水地群が完成したが、治水対策のワンセットとして、引き続き河道掘削、堤防整備を進めていくことが必要だと思っている。



千歳市長

- 放水路計画の時は道議会議員として、知事、北海道開発局と意見交換を深く行った思いがある。そして時間が経ち、千歳川遊水地群が完成し、一つの大きな節目を迎えられたことは大変嬉しく感慨深く感じている。
- 根志越遊水地をはじめ遊水地が完成したことにより、農業や市民生活に大変貢献していただけたことになった事に感謝している。
- 堤防整備など、引き続きしっかりとした取り組みを進めてもらいたい。千歳川流域の自治体の一つとして、この流域治水協議会との連携をこれからも図っていく。



恵庭市長

- 千歳川流域の4市2町は、千歳川の治水対策について歴史的にもこれまでも何度も悩まされ、改善のための行動を共にしてきた。
- 昭和56年の大洪水を市の職員として経験した者として、放水路計画は優れた治水対策であると思っているが、様々な課題があるということで、平成17年に千歳川河川整備計画ができた。現在はこの計画に沿って遊水地や堤防整備、河道掘削が実施されているところなので、これを早期に完成してほしいと思っている。
- 最近の全国での水害状況を見ると、1000mmなどの異常降雨が発生している。千歳川河川整備計画は昭和56年8月洪水を対象とした計画であるが、このような異常豪雨が起きれば、到底水害を防ぐことは出来ないと思われる。気候変動等による異常降雨に対する検討も進めていただきたい。



北広島市長

- 昭和56年の大水害があった当時は、まだ市の職員であり、2日間徹夜で千歳川の土のう積みをしたことを思い出す。この大水害では、輪厚川の溢水や島松川築堤の破堤があり、市の消防団員1名の殉職や被害額38億円超えという甚大な被害が発生した。この災害を契機に千歳川河川整備計画が策定され、6つの遊水地が完成し、地域住民も大変喜んでおり心から感謝している。
- 市の中心を流れる輪厚川の整備が課題であり、千歳川河川整備計画にも位置づけられ検討が進められているが、整備が完成して初めて地域住民が安心できていると思っている。



南幌町長

- 千歳川河川整備計画の3つの柱のうち、千歳川遊水地群については、令和2年4月に供用開始となった。
- 残る堤防整備、河道掘削の早期完成を希望するとともに、昨今のこれまでに経験したことのない異常災害に対する治水対策を希望したい。



長沼町長

- 昭和56年8月の大洪水を契機に千歳川放水路計画が決定され、長沼町においても事業への機運が非常に高まっていた。千歳川放水路計画は中止となったが、千歳川河川整備計画が早期に作られ、堤防整備や千歳川遊水地群などの整備内容に安堵したものである。
- 長沼町の舞鶴遊水地は千歳川遊水地群の中でもいち早く着手し、平成27年度に供用開始となった。平成30年7月の豪雨では初めて越流堤から水を引き込むなど、目に見える効果に対して、喜びの声が地元からも聞こえてきている。
- 治水対策は、農業生産の拡大や企業進出、さらには移住・定住が進むなどの地域発展に欠かせない重要な分野。今後、特にハード面で計画されている堤防整備、河道掘削の早期完成をお願いする。